

The background features a light blue world map with white grid lines. In the lower-left foreground, there is a 3D-rendered globe showing the Americas, with a blue and white color scheme.

三井化学

「経営概況」説明会

2013年5月30日

三井化学株式会社

社長 田中 稔一



1. 2012年度レビュー

2. 2013年度業績予想

3. 中期経営計画の進捗

4. 投資計画と財務状況

5. さいごに

岩国大竹工場事故から1年を迎えて

- 12年4月22日 レゾルシンプラントで爆発火災事故が発生
- 第三者による「事故調査委員会」を設置
- 社内に「**抜本的安全検討委員会**」を設置
→ **3つの課題の抽出と11個の対策を策定**

**抜本的安全対策を確実に実行し、
安全の実績を着実に積み重ねることで、
社会的信頼を取り戻す**

2012年度 決算


(単位:億円)

摘 要	11年度 決算	12年度 決算	増減
売 上 高	14,540	14,062	△478
営 業 利 益	216	43	△173
営 業 外 損 益	13	49	36
経 常 利 益	229	92	△137
特 別 損 益	△65	△100	△35
税金等調整前当期純利益	164	△8	△172
当 期 純 利 益	△10	△81	△71
為替レート(円/\$)	79	83	4
国産ナフサ(円/KL)	54,900	57,500	2,600
有 利 子 負 債	4,648	5,072	424
自 己 資 本	3,674	3,768	94
D / E レ シ オ (倍)	1.27	1.35	0.08
年 間 配 当	6円/株	6円/株	-

2012年度 セグメント別営業利益

(単位:億円)

セグメント	11年度	12年度	対前年	備考
機能化学品	117	124	7	ヘルスケア材料の需要拡大
機能樹脂	82	84	2	増販
ウレタン	△146	△26	120	増販、スプレッド改善
基礎化学品	86	△189	△275	岩国事故などによる減販 スプレッドの大幅悪化
石化	89	77	△12	交易条件悪化、 市原停電トラブルなど
フィルム・シート	2	△33	△35	太陽電池市場の需要回復遅れ 販売価格の下落
合計 (その他含む)	216	43	△173	

- 
1. 2012年度レビュー
 - 2. 2013年度業績予想**
 3. 中期経営計画の進捗
 4. 投資計画と財務状況
 5. さいごに

2013年度 環境分析

世界経済

- 米国経済の拡大基調
 - 欧州ソブリンリスク小康状態
 - 中国、インドの景気減速
- ⇒13年後半にかけて各国経済は緩やかに回復

日本経済

- アベノミクスの金融緩和、財政政策、成長戦略
- 円安の進行、株価の上昇
- 復興需要の本格化
- 消費税増税前の駆け込み需要など

新興国の景気反転のリスクもあるが、
全体としては**下期に掛けて回復を見込む**

2013年度 業績予想

(単位:億円)

摘 要		12年度 決算	13年度 予想	増減
売	上 高	14,062	16,000	1,938
営	業 利 益	43	280	237
営	業 外 損 益	49	△50	△99
経	常 利 益	92	230	138
特	別 損 益	△100	△80	20
当	期 純 利 益	△81	50	131
為替レート(円/\$)		83	95	12
国産ナフサ(円/KL)		57,500	63,000	5,500

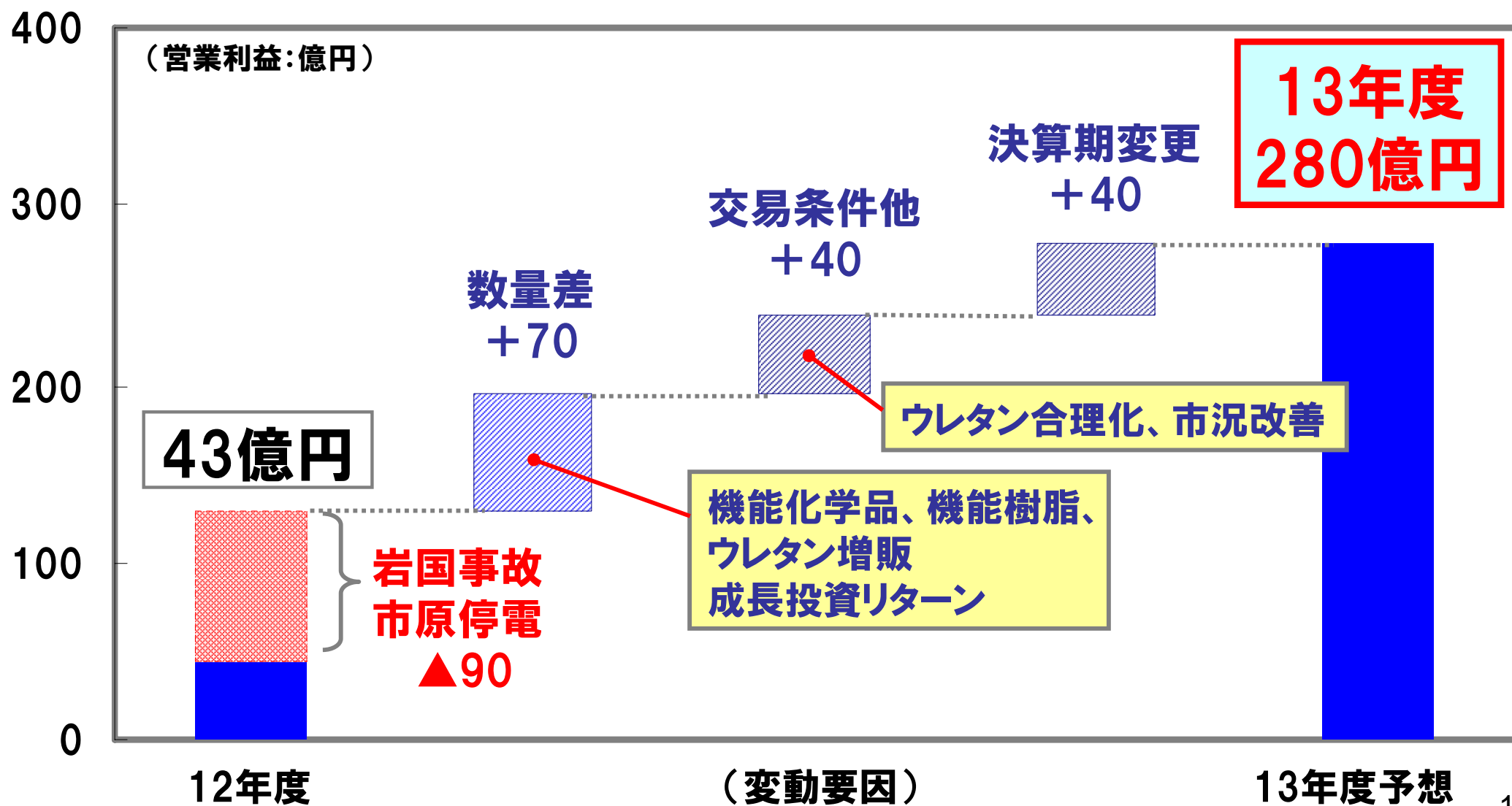
2013年度 セグメント別営業損益予想

(単位:億円)

セグメント	12年度 通期 決算	13年度予想			対前年
		上期	下期	通期	
機能化学品	124	65	90	155	31
機能樹脂	84	45	60	105	21
ウレタン	△26	25	45	70	96
基礎化学品	△189	△90	△50	△140	49
石化	77	45	115	160	83
フィルム・シート	△33	△10	△10	△20	13
合計 (その他含む)	43	50	230	280	237

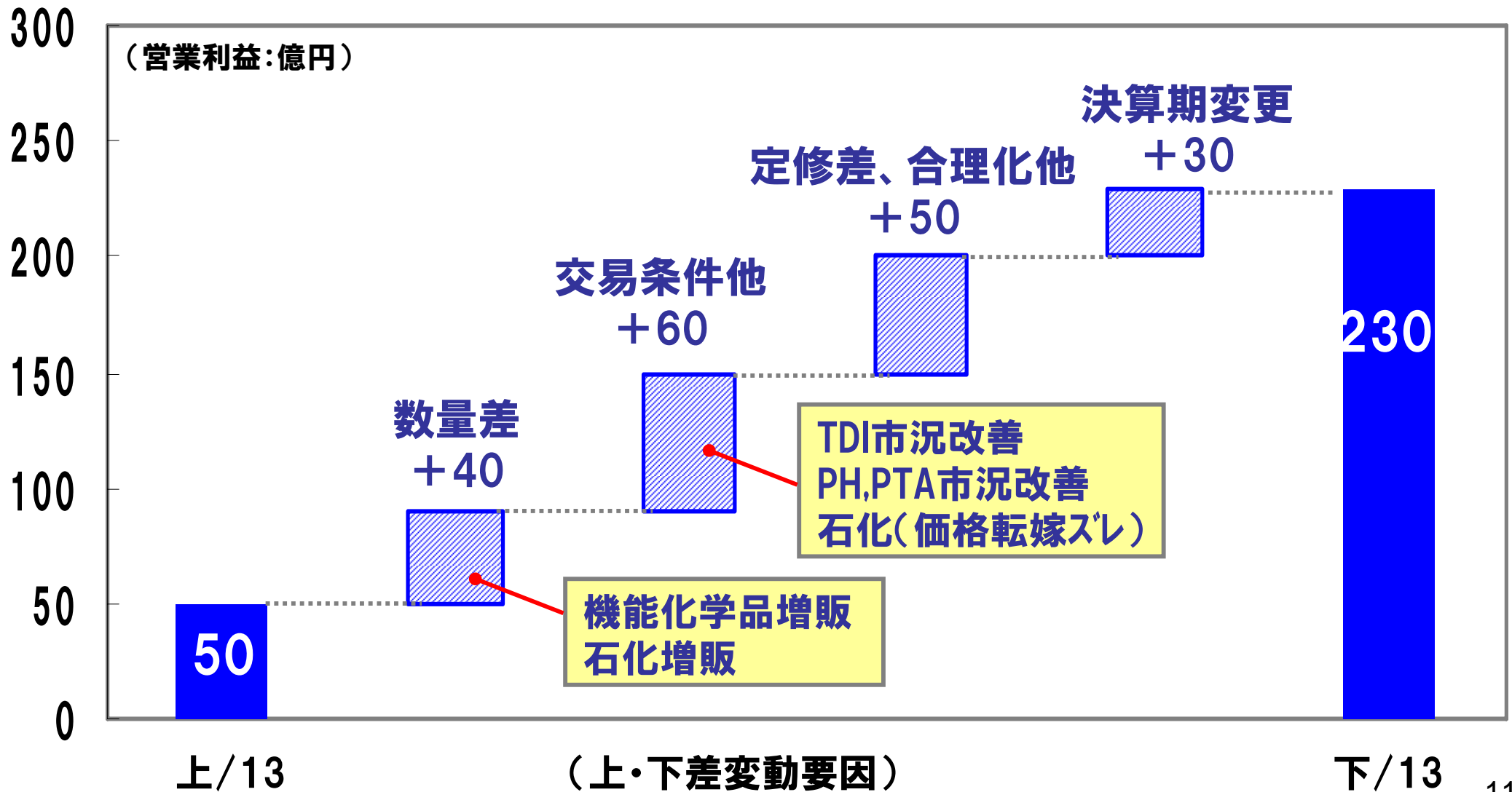
2013年度 営業損益(対12差異分析)


13年度は事故影響からの回復などで
営業利益280億円以上を見込む



2013年度 営業損益(上下差)

上期と下期では、定修差、海外子会社決算期変更などの影響で、大きく差が出ている



- 
1. 2012年度レビュー
 2. 2013年度業績予想
 - 3. 中期経営計画の進捗**
 4. 投資計画と財務状況
 5. さいごに

三井化学グループの将来あるべき姿

- ◆成長性と永続性を実現する**事業ポートフォリオの構築**
- ◆アジアを中心に**グローバルに存在感のある化学会社**

「5-5-5戦略」

経営資源を3つの重点強化分野に集中し、グローバルに存在感ある化学会社として、営業利益1,000億円を目指す

①健康・高齢化や食糧確保等の社会要請に対応する **高機能製品群**

⇒M&Aや提携による早期事業拡大

- ヘルスケア(メガネレンズモノマー、歯科材料、不織布)
- 農業化学品(農薬)

②高機能触媒等、独自技術をベースとする **高付加価値ポリマー群**

⇒高機能化、海外展開の拡大・加速

- メタロセン・ポリマーズ(エボリュー、タフマー、EPT)
- 高機能コンパウンド(PPコンパウンド、アドマー)

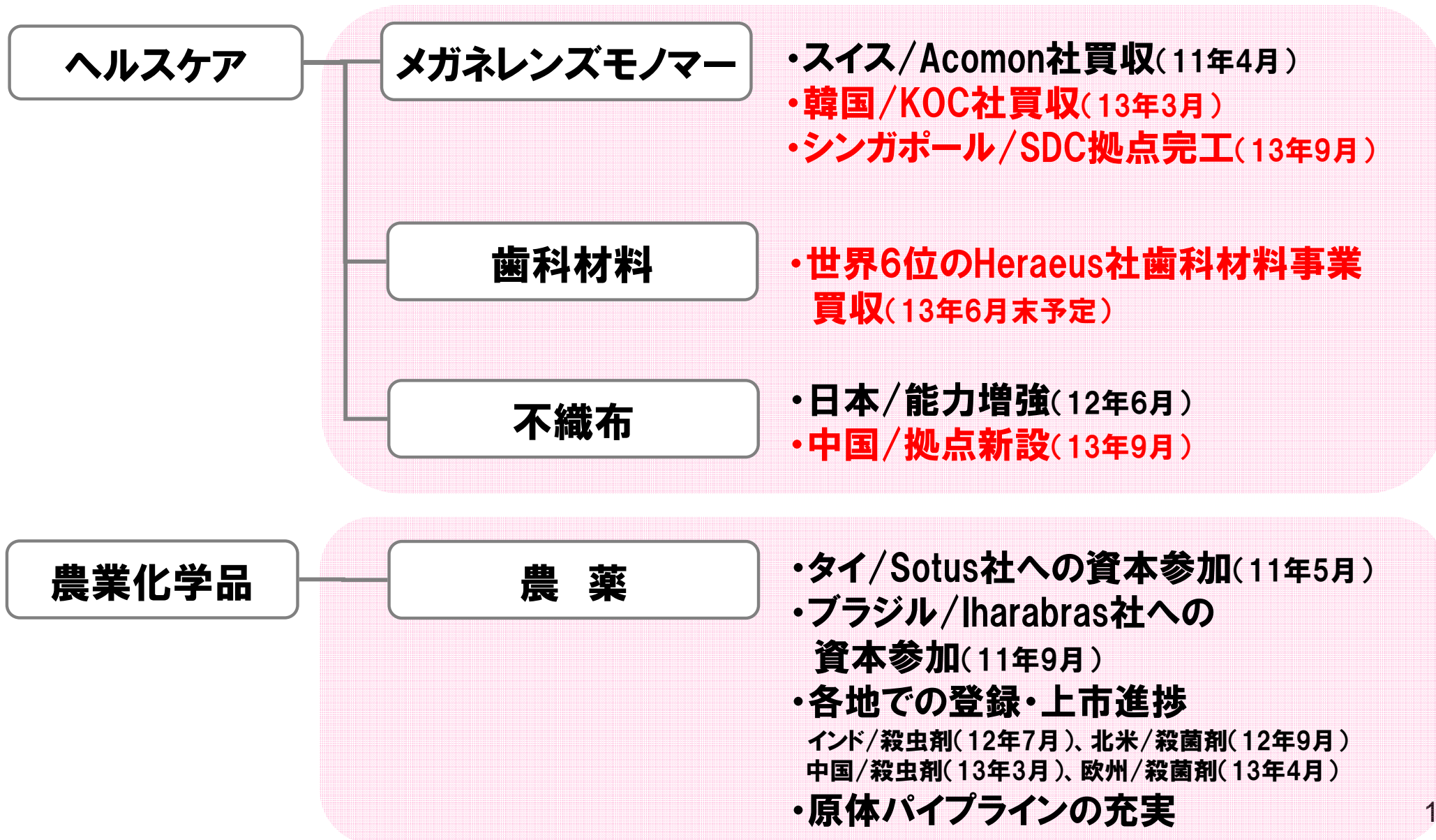
③世界的に存在感のある **フェノール・チェーン製品群**

⇒収益悪化大型事業の抜本的構造改革

～ポートフォリオの変革へ～

高機能製品群 戦略の進捗

M&Aや提携により高機能製品群の拡大は順調に進捗



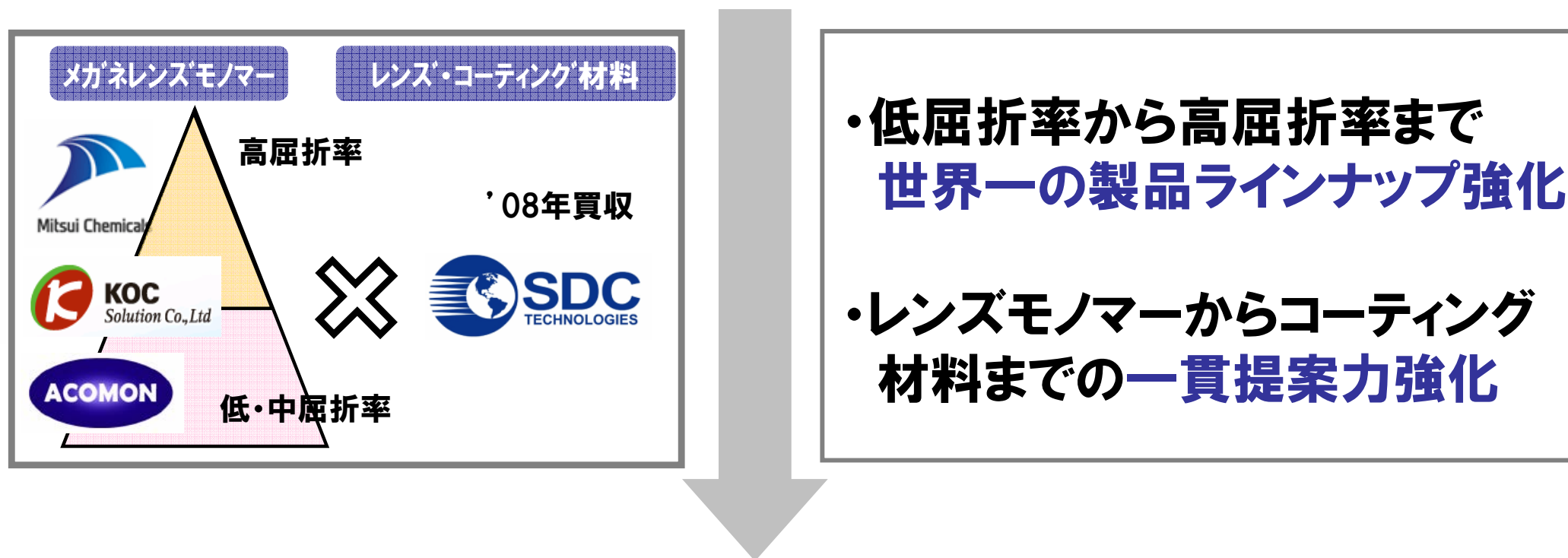
高機能製品群

メガネレンズモノマー

①. メガネレンズモノマー

韓国/KOC社の買収(13年3月)
 伸長するアジア市場強化で、**世界シェアNo1を更に強固に**

SDCシンガポール拠点完工(13年9月)
 コーティング分野のアジア需要の**確実な取り込み**



- 低屈折率から高屈折率まで
世界一の製品ラインナップ強化
- レンズモノマーからコーティング
 材料までの**一貫提案力強化**

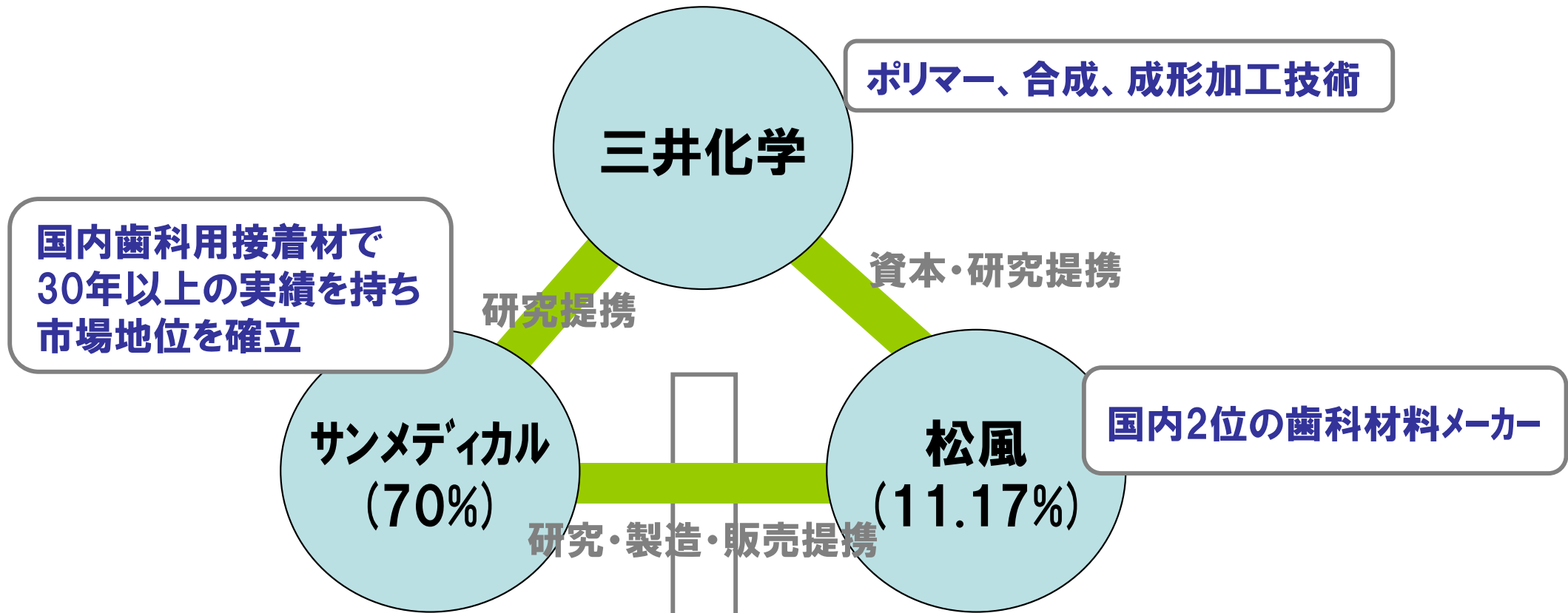
メガネレンズのトータル・ソリューションで、世界トップの地位強化

高機能製品群

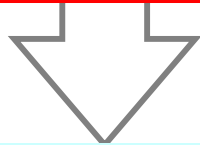
Heraeus社歯科材料事業

買収について

②-1. 歯科材料 —当社の現状と課題—



将来の更なる成長のためには、**グローバルな事業基盤が必要**

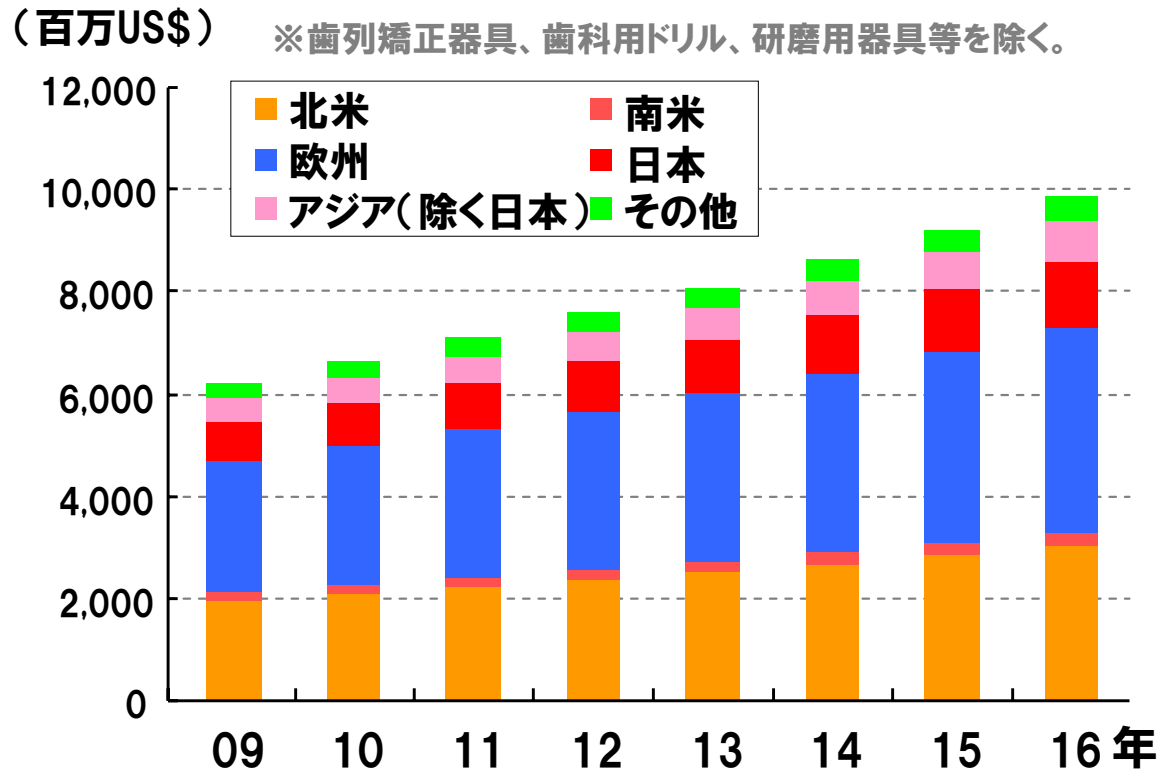


**世界第6位、22カ国に及ぶグローバルな事業基盤を持つ
Heraeus社の歯科材料事業を買収**

②-2. 歯科材料市場

- **世界的な高齢化により、全世界で6~7%程度の安定的な高い成長が見込まれる**
- **アジアは高い成長(8%以上)が継続し、ポテンシャル大**
- **金属からプラスチックへの素材シフトが進展し、当社ポリマー技術とのシナジー効果が期待できる**

地域別歯科材料市場規模推移



<平均成長率>

	'09-12	'12-16
北米	6.4%	6.5%
南米	6.3%	6.2%
欧州	6.6%	6.7%
日本	7.3%	7.4%
アジア(除く日本)	8.4%	8.5%
その他	5.6%	5.7%
全体	6.7%	6.8%

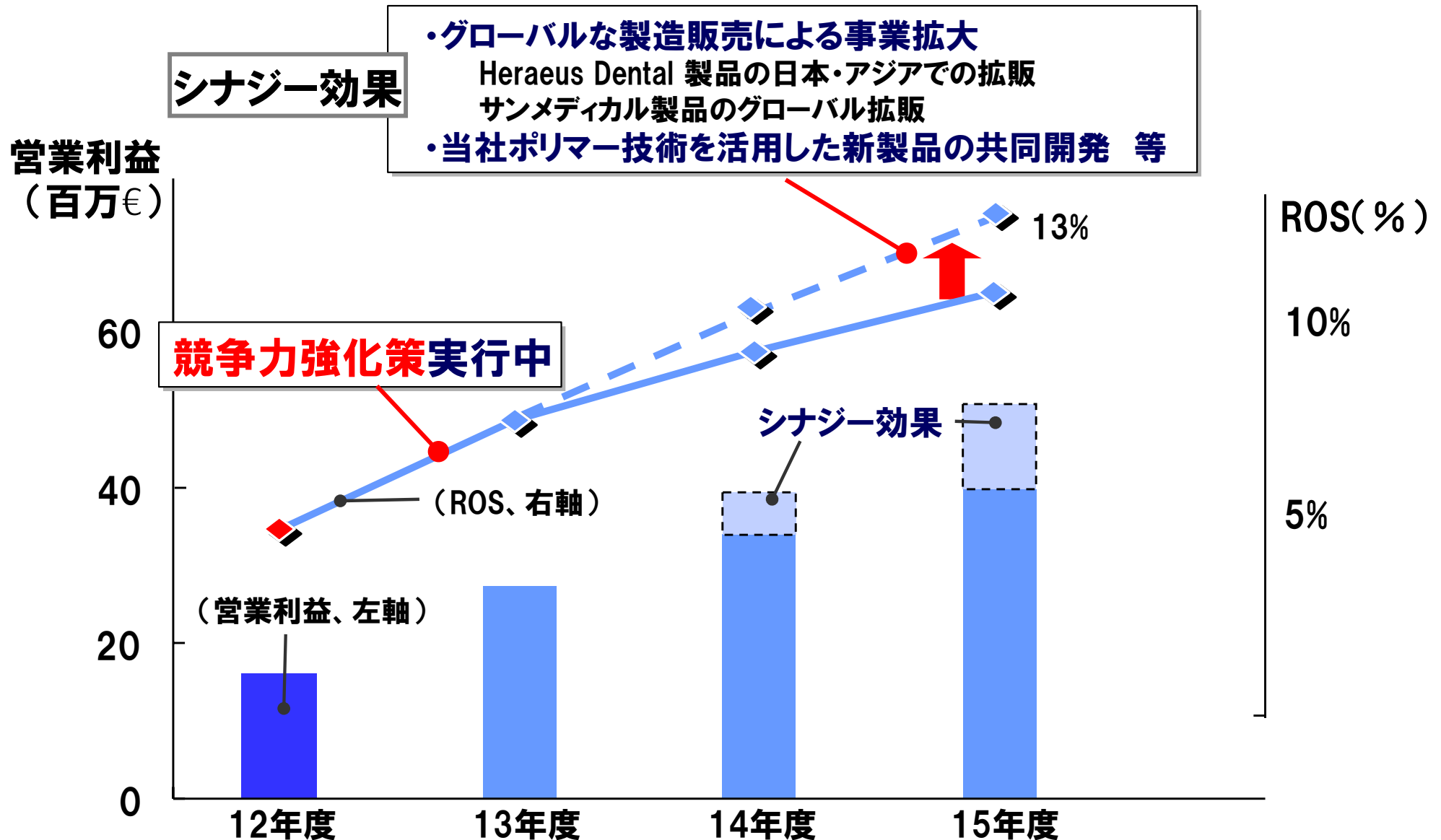
②-3. Heraeus Dental買収の概要

契約締結日	2013年4月4日
株券引渡期日	2013年6月末を予定
事業会社	Heraeus Kulzer GmbH(独)を本社として、 合計26社からなる企業グループ (株式取得対象:17社、資産取得対象:9社)
事業開始	1935年
拠点	営業拠点:世界22ヶ国(26ヶ所) 生産拠点:世界5ヶ国(9ヶ所) 欧州 14社:ドイツ、オランダ、スウェーデン等 米州 3社:アメリカ、メキシコ、ブラジル アジア・オセアニア 9社:日本、中国、オーストラリア等
従業員数	約1,400名
連結売上高	353.6百万ユーロ(2012年)
買収価格	450百万ユーロ

事業ポートフォリオ変革に大きな一石

②-4. 買収後の事業計画

競争力強化のための合理化と将来のシナジー効果で、
安定的な高収益体制を確立

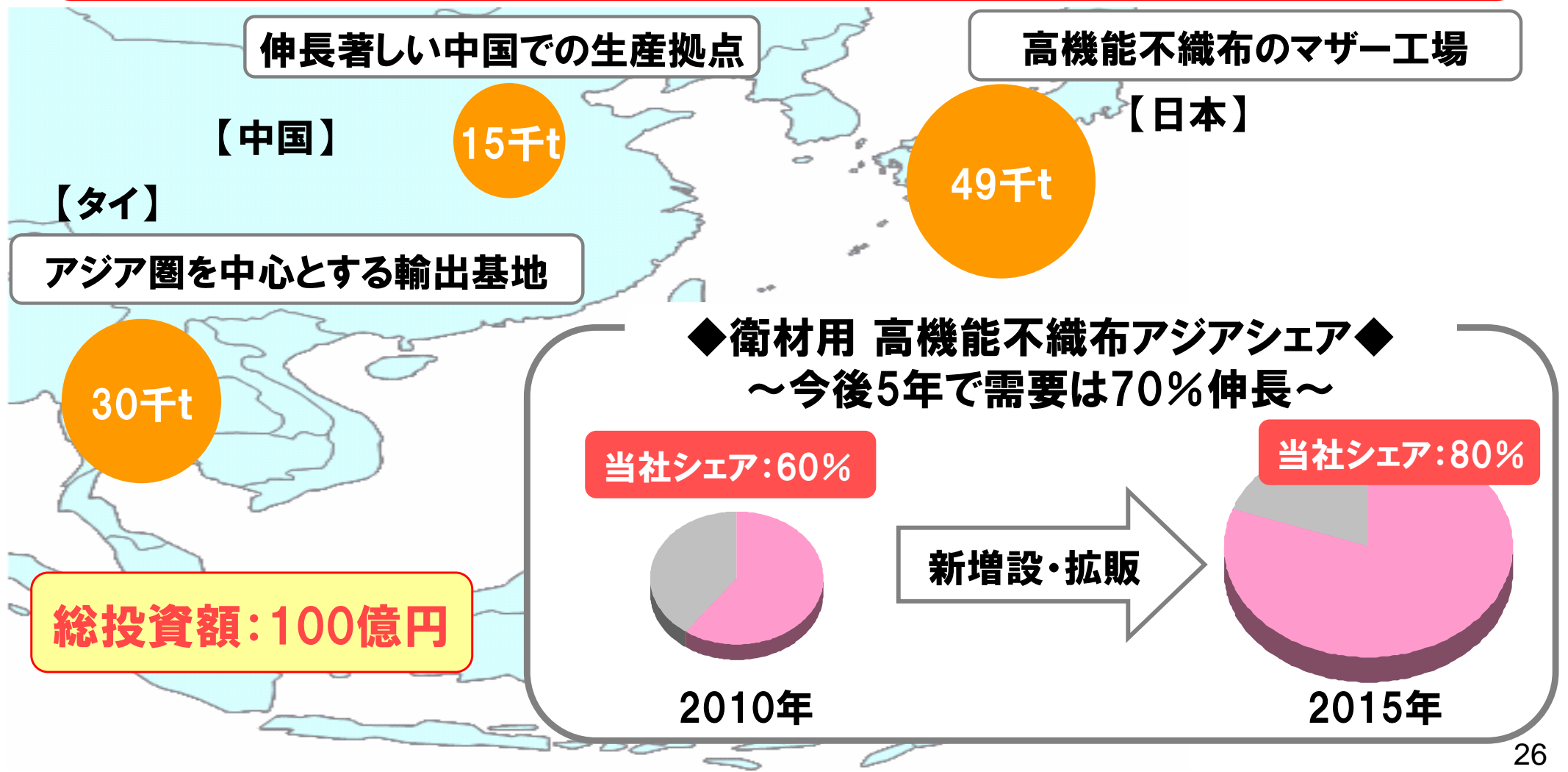


高機能製品群

不織布

③. 衛材用高機能不織布

【中国】高機能不織布の拠点新設(15千t、13年9月営業運転開始)
 【日本】能力増強(+15千t、12年6月営業運転開始)
 ⇒ 3極体制による高機能不織布のアジアシェアNo1強化



～ポートフォリオの変革へ～

高付加価値ポリマー群 戦略の進捗

高機能化、海外展開の拡大・加速

メタロセン・ポリマーズ

エボリュー

・シンガポール/拠点新設(15年2Q)

タフマー

・シンガポール/高機能品増強(14年1Q)

EPT

・中国/拠点新設(14年1Q)

高機能コンパウンド

PPコンパウンド

・ブラジル/Produmaster社の買収(12年5月)
・各拠点での増強
(アメリカ、メキシコ、タイ、中国)

アドマー

・中国/拠点新設(14年4Q)

高付加価値ポリマー群

PPコンパウンド

PPコンパウンド

- ・**ブラジル/Produmaster社買収(12年5月)、各拠点での増強**
- ・**米/GM社からサプライヤー賞を初受賞(日系コンパウンドメーカー初)**

世界8極体制の確立



生産能力74万t(10年度)から**94.3万t(13年度末)**で世界トップへ

低収益大型事業の構造改革



低収益大型事業の構造改革

徹底的なコストダウンと抜本的再構築

アロマ系事業の構造改革

フェノール・チェーン製品群

高純度テレフタル酸(PTA)

ウレタン原料

石化事業の構造改革

ポリオレフィン事業

エチレンセンター

①. アロマ系事業の構造改革

アロマ系事業の 構造改革



(AC法IPAプラント)

フェノール・チェーン製品群

- ① AC法IPA稼動開始(6万t、13年4月)
- ② 誘導品強化(アノンプロセス確立 13年上期)
- ③ 徹底的なコストダウン(13年度末35億円)
- ④ 競争力ある原料の確保(ニソン計画)

高純度テレフタル酸(PTA)

- ① コスト競争力強化(酢酸原単位改善など)
- ② タイ拠点の稼動調整(1系列休止中)

ウレタン原料

- ① 生産最適化・設備廃棄
 - ・千葉ポリオール停止(2.8万t、12年6月)
- ② PU材料事業の減損処理(11年度)
- ③ コストダウン(15年度末目標80億円)
 - ・目標過達見込み(95億円)
- ④ SABIC社との連携

抜本的構造改革推進

②-1. 石化事業の構造改革

石化事業の 構造改革



ポリオレフィン事業の構造改革

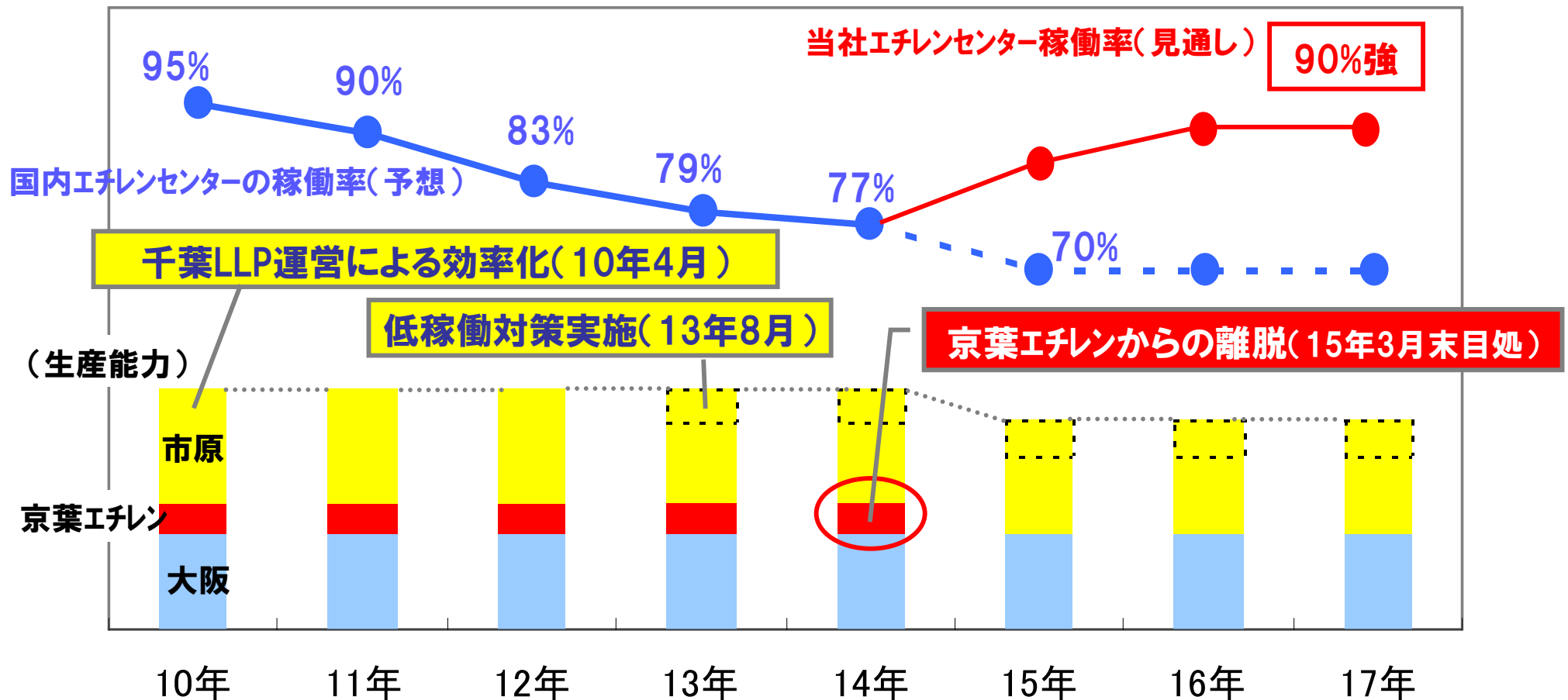
- ①生産最適化、設備廃棄
 - ・PPプラント2系列停止
(宇部:9万t、11年3月、市原:9万t、13年7月)
 - ・HDPEプラント停止(千葉:13万t、13年4月)
- ②徹底的なコストダウン
 - ・11、12年度:70億円達成(対10年度)
 - ・13年度:30億円目標(累計100億円達成見込)

エチレンセンターの構造改革


- ①千葉LLPによる最適運営体制
- ②低稼働対策実施(千葉LLP)
 - ・稼働70%でも経済的な稼働体制構築(13年8月)
- ③京葉エチレンからの離脱(15年3月末目処)
- ④更なる再構築へ

②-2. エチレンセンターの構造改革

- ・エチレン内需は500万t程度へ低下
⇒低稼働時代へ向けた最適運営体制の確立を着実に実行



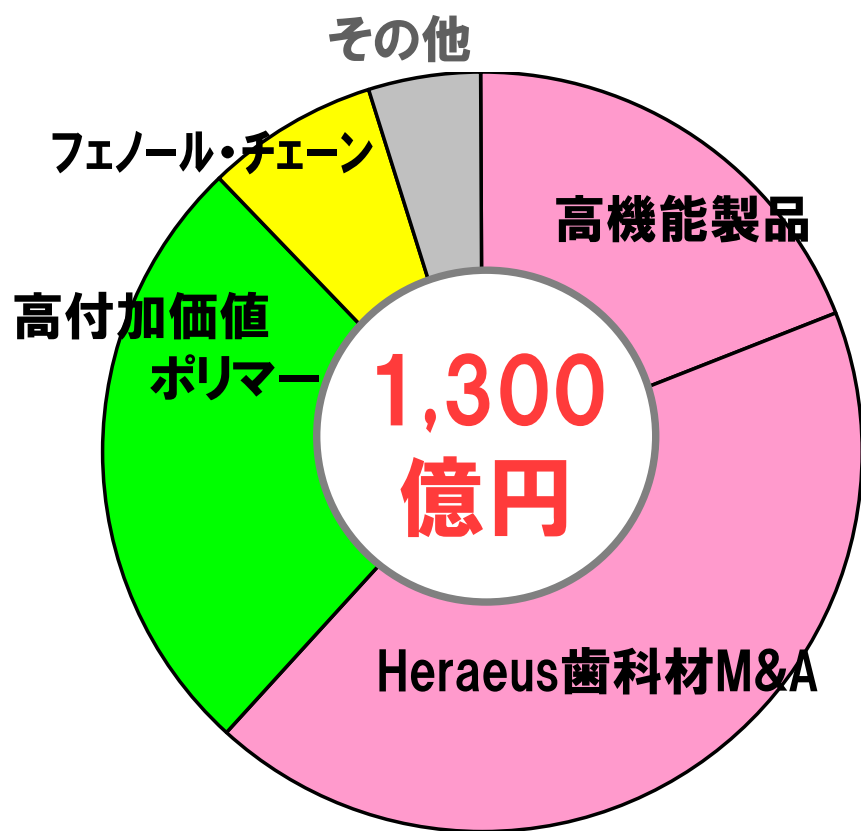
LLP活用の拡大、更なる再構築の実現へ

- 
1. 2012年度レビュー
 2. 2013年度業績予想
 3. 中期経営計画の進捗
 - 4. 投資計画と財務状況**
 5. さいごに

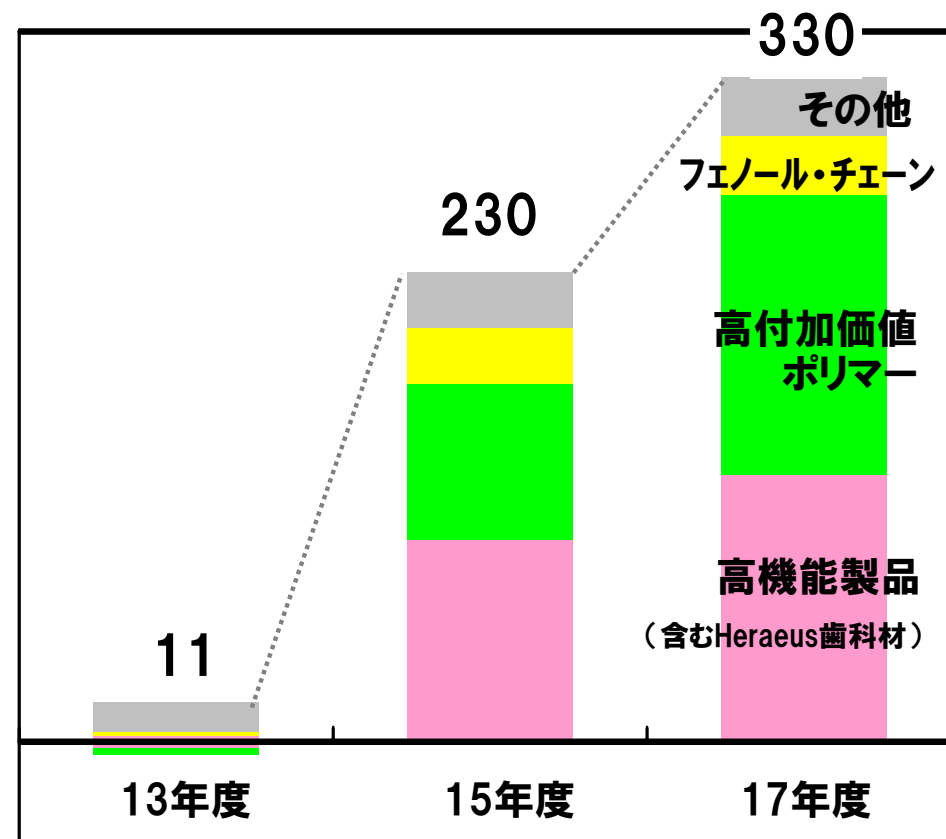
高機能製品と高付加価値ポリマーに**成長投資の9割近くを投入**

11-13年度成長投資

(含む:Heraeus 歯科材M&A)

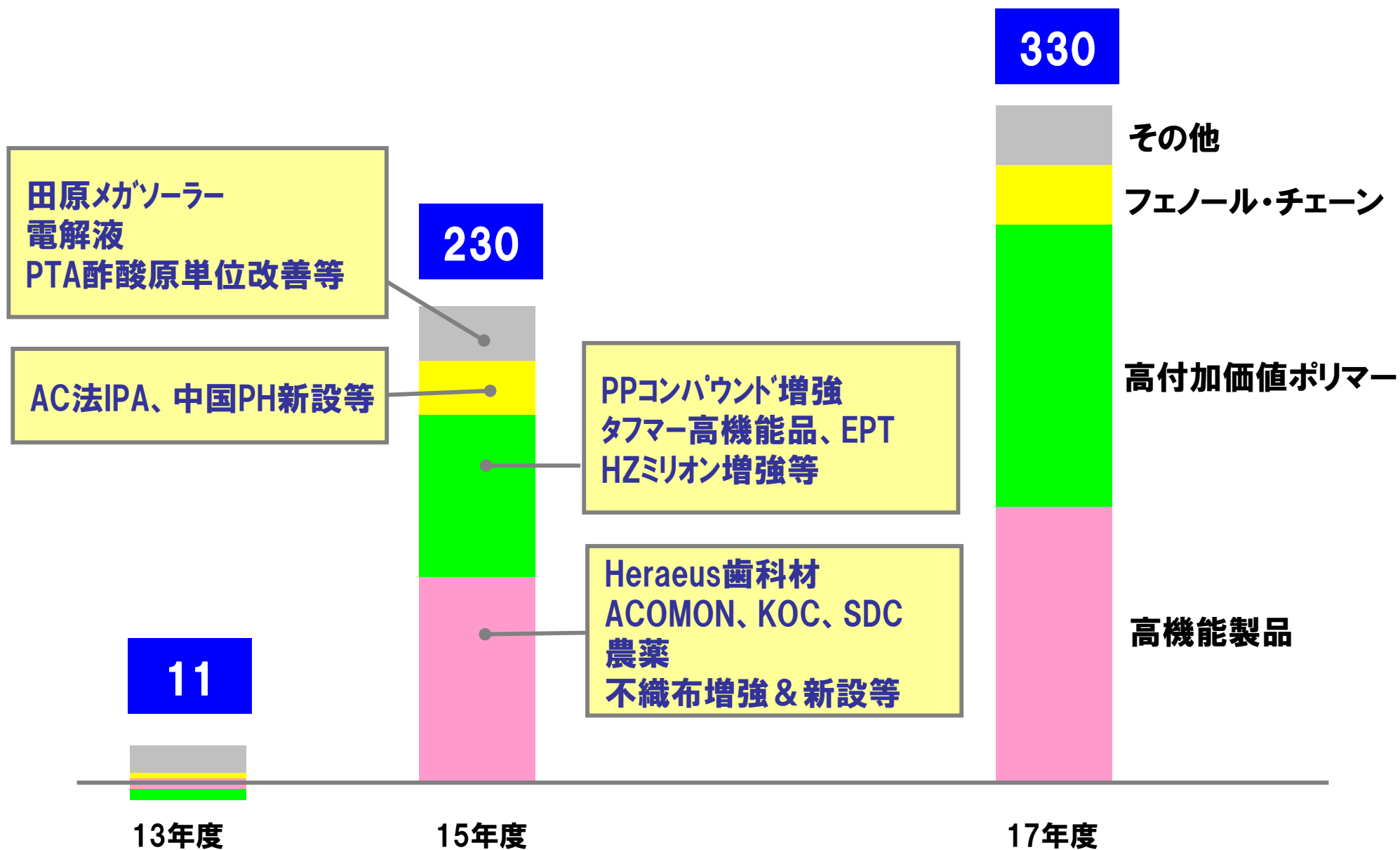


投資効果・増分利益(約50件)



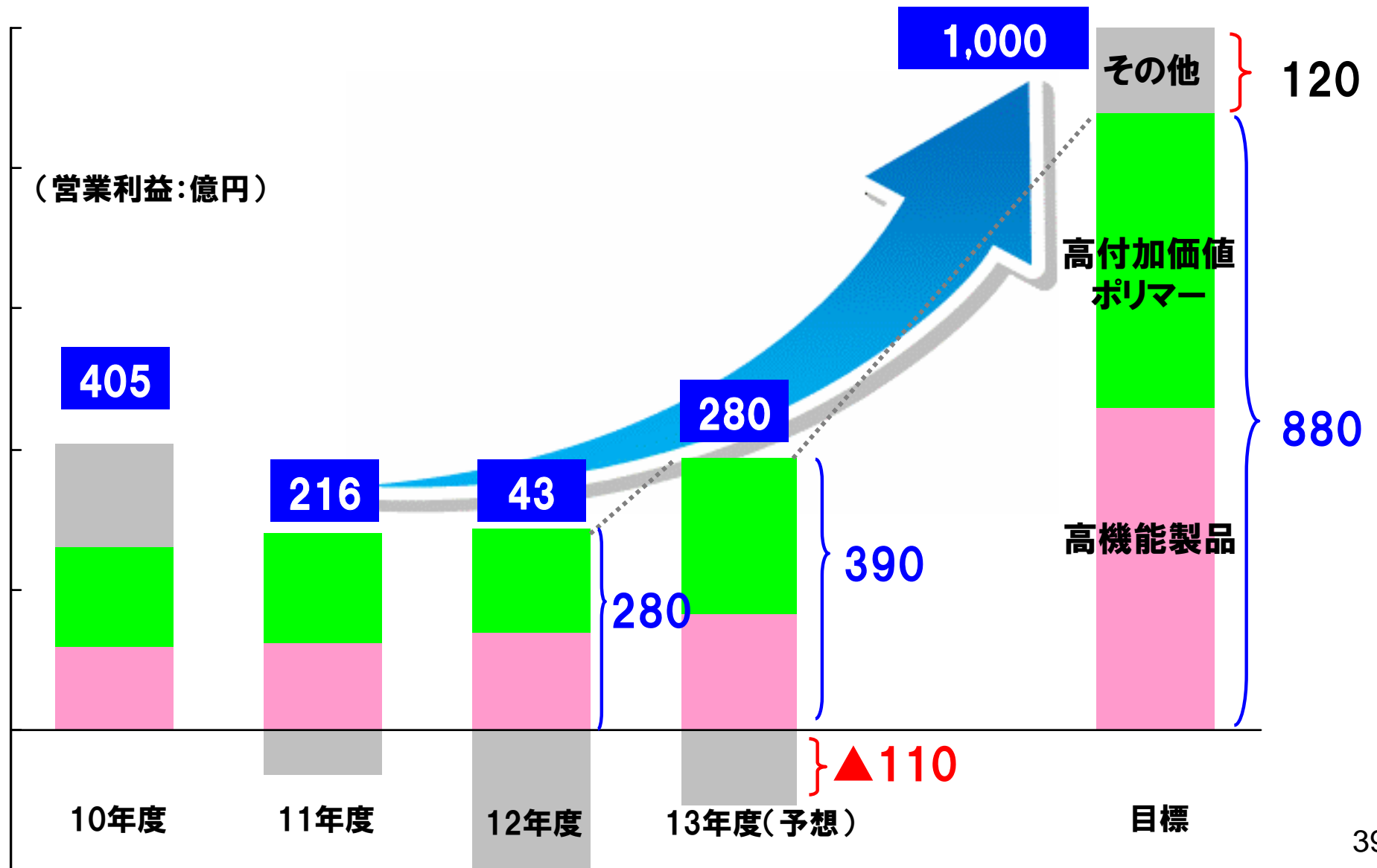
11中計期間中の成長投資の効果は、**2014年度以降に拡大**

約50件の投資テーマが進行中



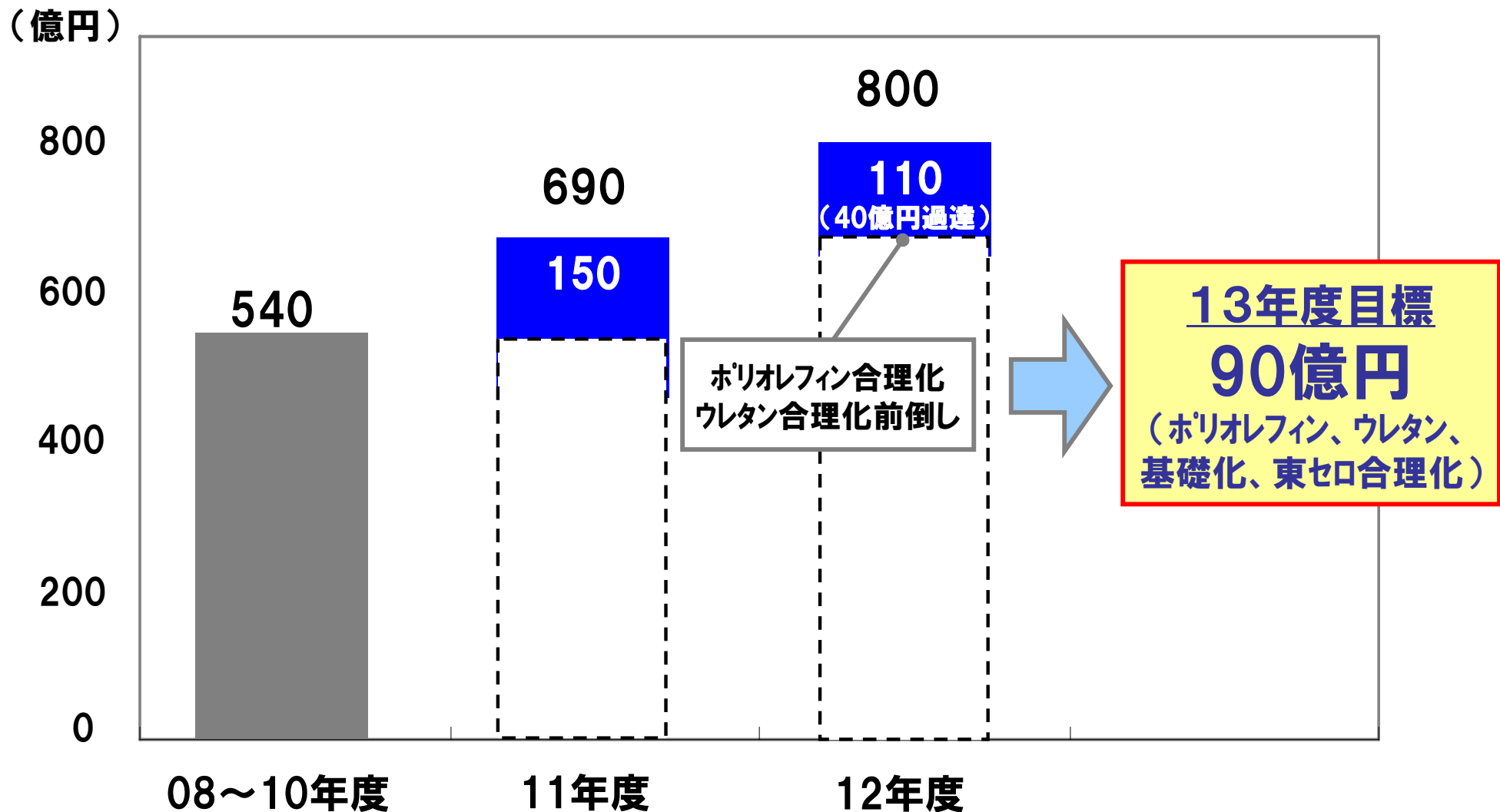
ポートフォリオの変革

高機能製品と高付加価値ポリマーは営業利益の90%近くを占め、
 景気変動の影響を受け難い事業ポートフォリオへ

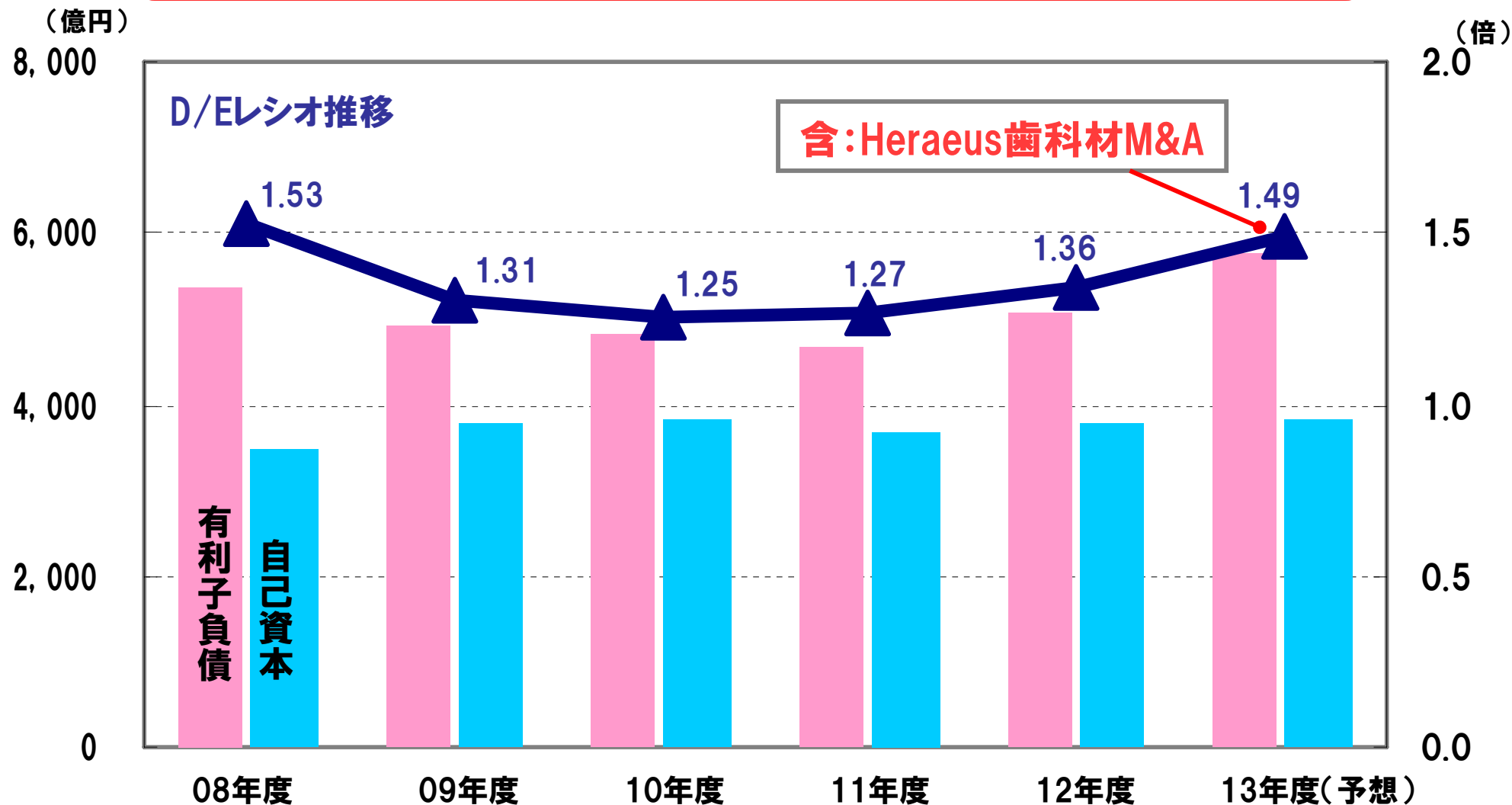


全社コストダウンの進捗

11年度150億円、12年度110億円を達成
13年度目標90億円とし、中計を上回るコストダウンを実施する

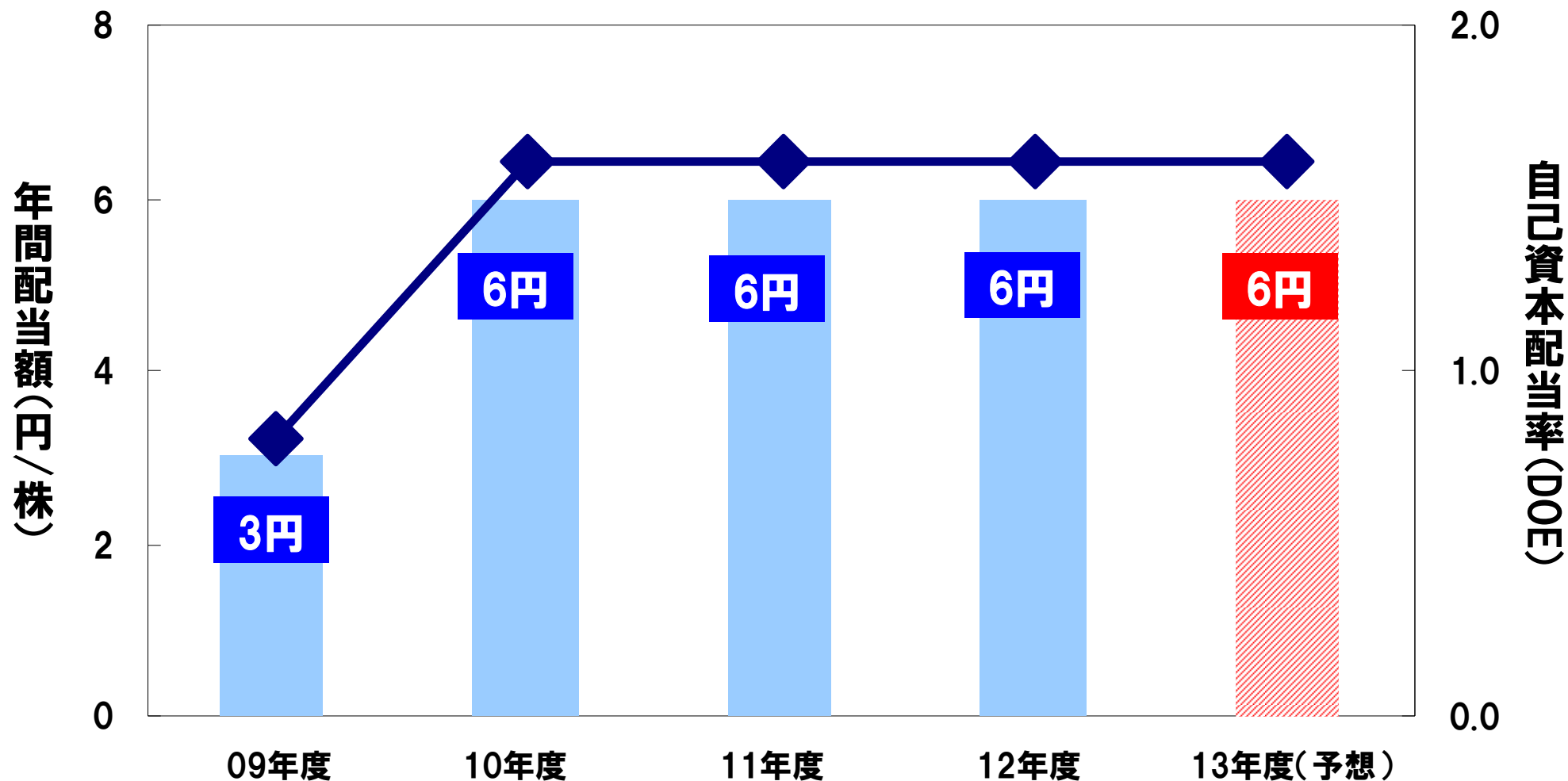


投資の集中化とコストダウン強化を行い、
財務体質とのバランスを取りながら戦略実行




注) 13年度は退職給付債務のオンバランス化による影響は含まず

13年度配当は、中間3円、期末3円(年間6円)を予定



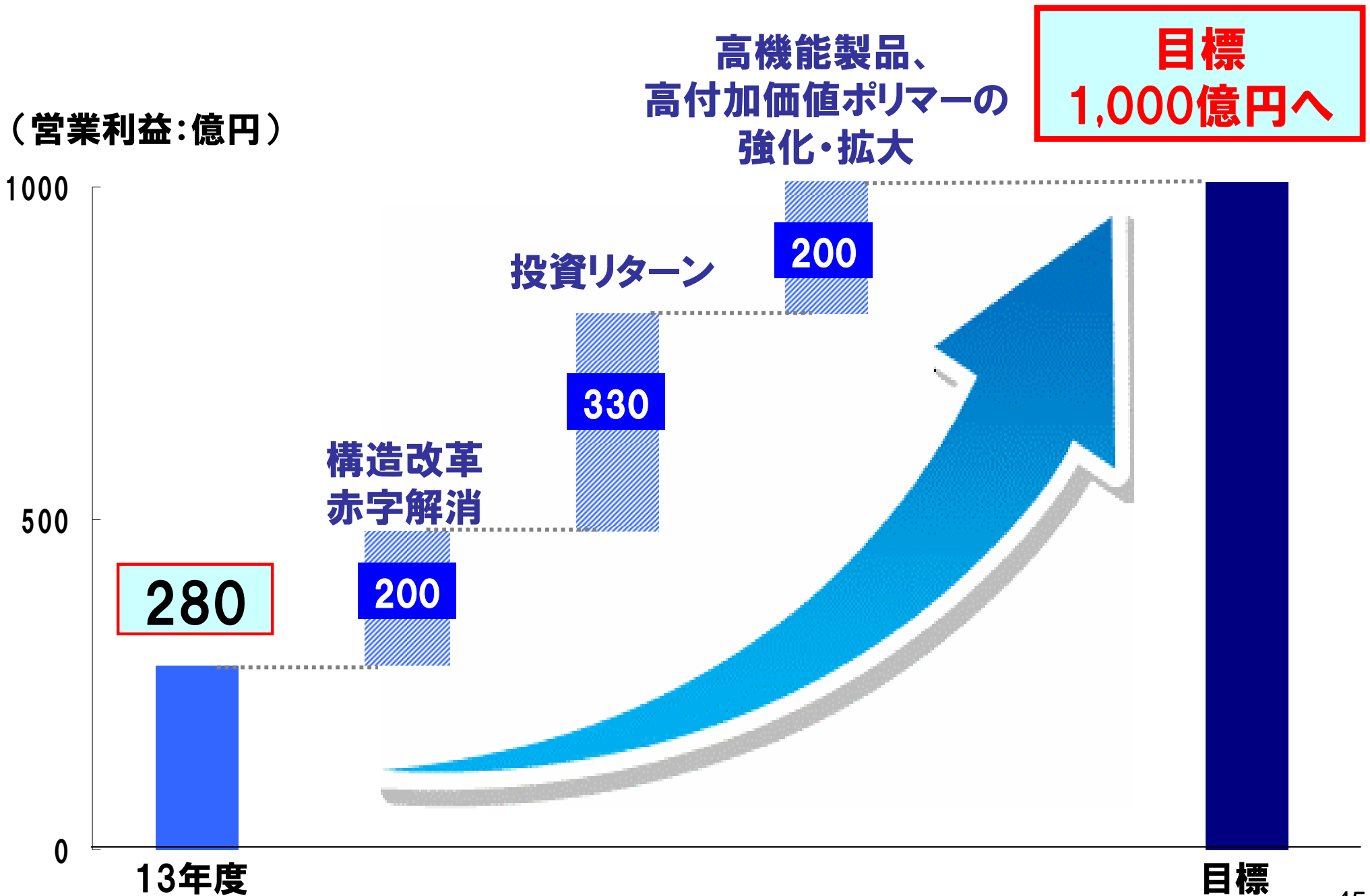
今後も安定的な配当の継続に努める
(連結配当性向: 25%以上、DOE: 2%以上を目標)

- 
- 1. 2012年度レビュー**
 - 2. 2013年度業績予想**
 - 3. 中期経営計画の進捗**
 - 4. 投資計画と財務状況**
 - 5. さいごに**

“攻めの経営で結果を出す”

- 低収益大型事業の**抜本的構造改革**の実現
 - 13年度 **営業利益280億円以上必達**
 - 実行済みの大型投資、M&AのPMIで**確実な収益拡大**
- ⇒ 景気変動に左右されにくい**ポートフォリオ変革の完遂**

目標への道のり





Challenge

Diversity

One Team

(完)

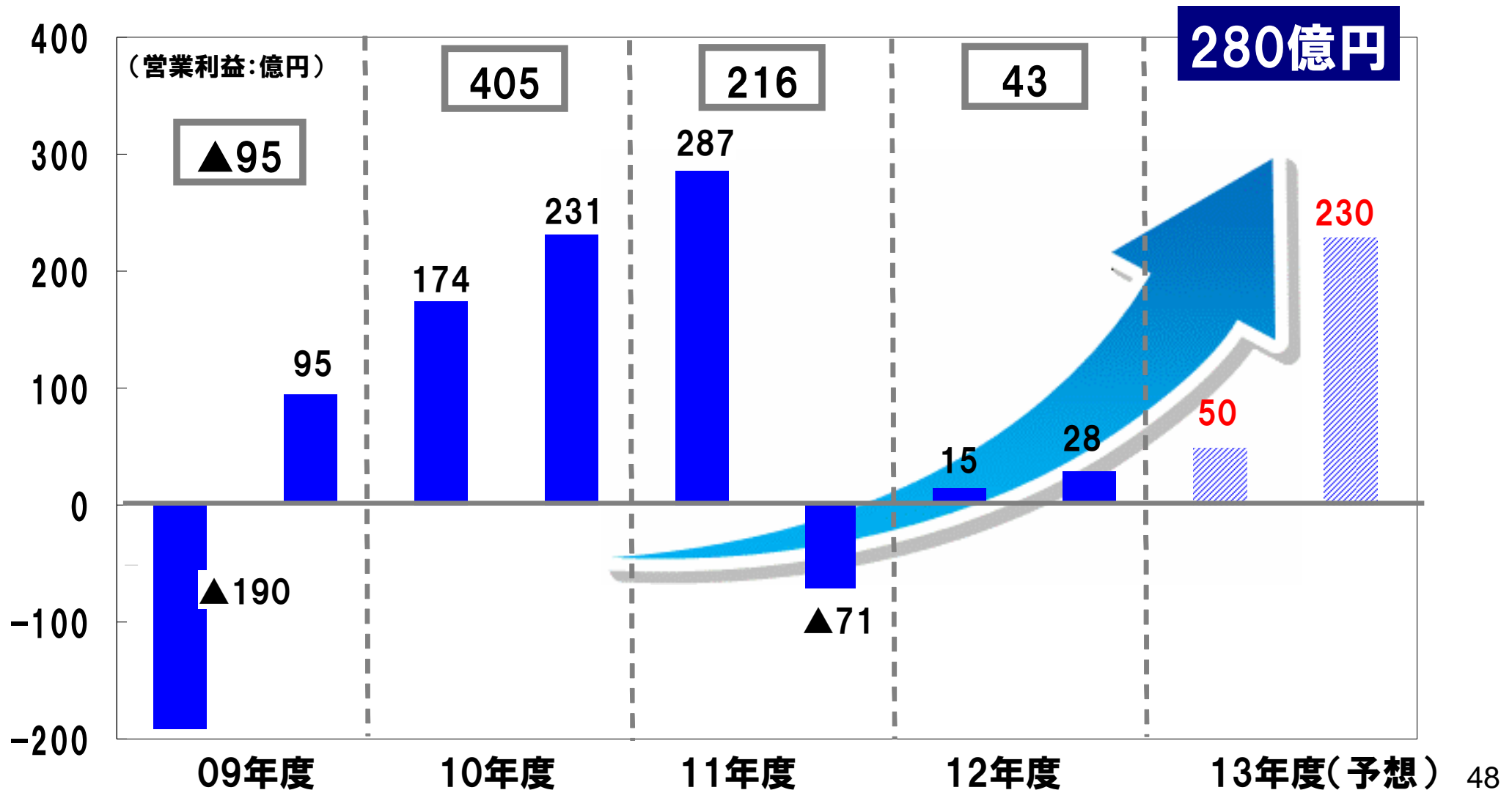
本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

(補足資料)



営業損益推移(09年度～13年度)

- ・13年度は**営業利益280億円以上を目指す**
- ・12年度の事故等の減益要因が無くなり、**確実に成長軌道へ**



高機能製品群の進捗～M&Aや提携による早期事業拡大～

		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降
ヘルスケア	メガネレンズモノマー	スイス)ACOMON買収			
	歯科材料	世界トップ戦略の強化		シンガポール)SDC完工	
	不織布	アジア3極体制の確立	日本)増強	★ドイツ)Heraeus歯科材買収	
農業化学品	農薬		タイ)Sotusへの資本参加		
			ブラジル)Iharabrasへの資本参加		
			インド)殺虫剤上市		
		グローバル拠点の確立 新規登録の推進		北米)殺菌剤上市	
				中国)殺虫剤上市	
				欧州)殺菌剤上市	
					ブラジル)殺虫剤上市

景気変動の影響を受け難い高機能製品群の拡大は順調に進捗

事業領域

製品例

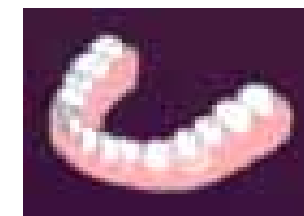
技工用材料



合金



人工歯



入れ歯材料

診断・治療用材料



コンポジットレジン
(充填材料)



接着材

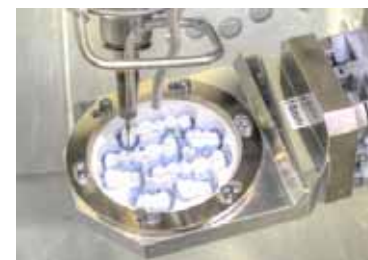


印象材

診療/技工用機器 デジタル3D加工



デジタルスキャナー

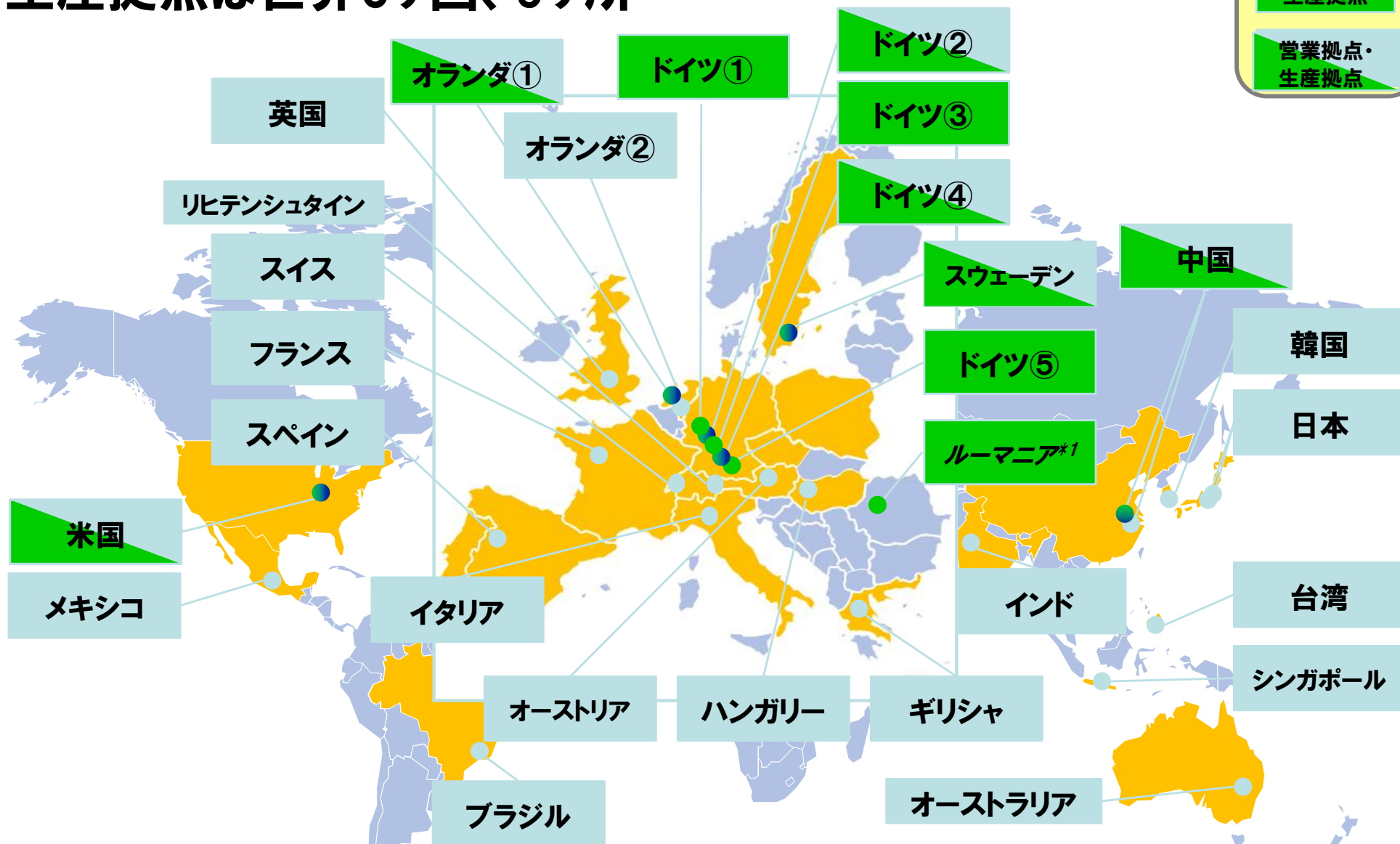


3D加工

歯科材料 Heraeus Dental事業拠点

■営業拠点は世界22ヶ国、26ヶ所

■生産拠点は世界5ヶ国、9ヶ所



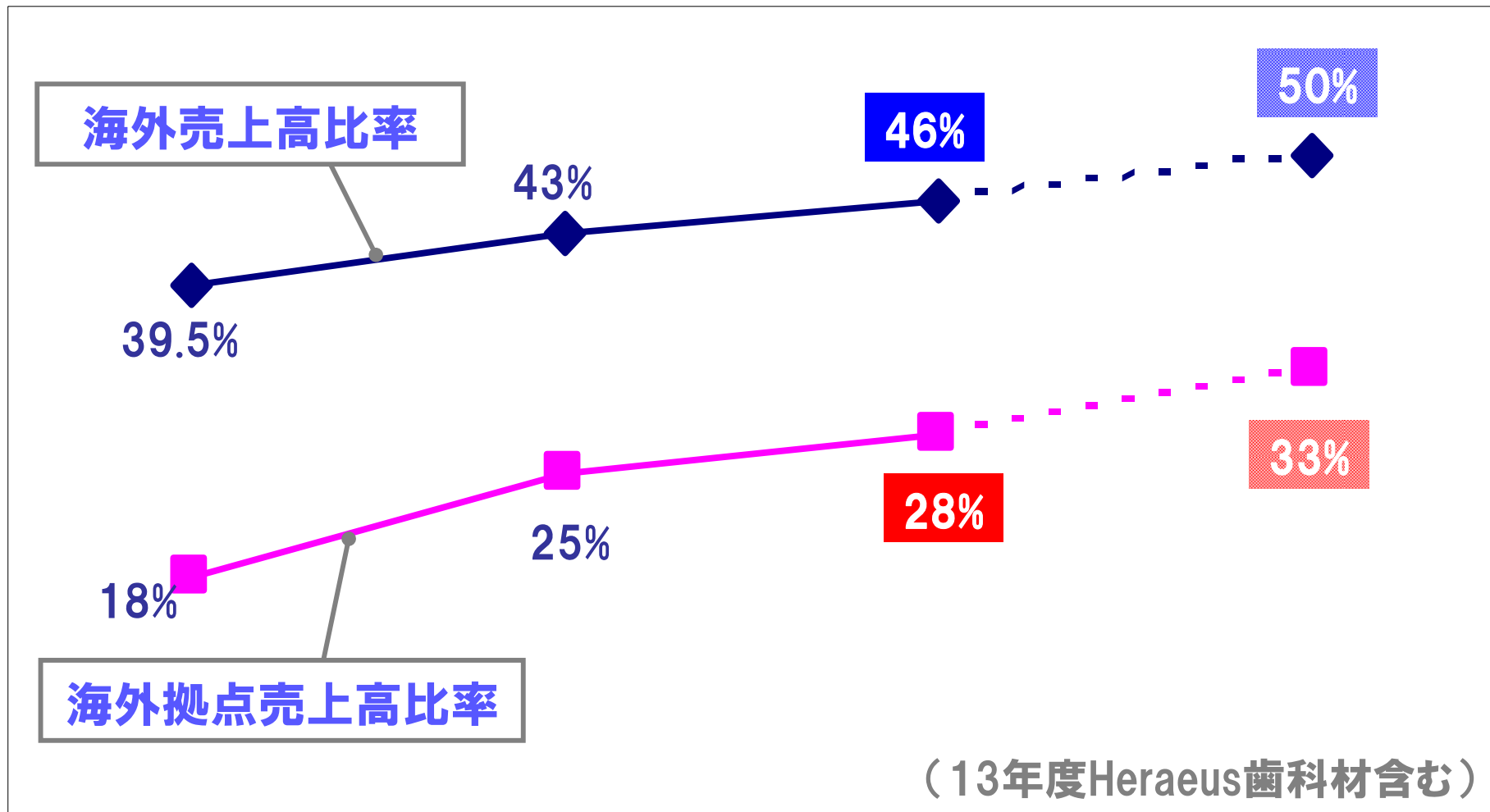
脚注: *1. Romaniaに工場建設予定(準備中)

高付加価値ポリマー群の進捗～高機能化、海外展開の拡大・加速～

		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降
メタロセン・ポリマーズ	エボリュー		日本)増強(+50千t)		
	タフマー			シンガポール)新設(300千t、15年)	
	EPT			シンガポール)高機能品増強(8千t)	中国)新設(75千t)
		14年以降、大型PJ立ち上がりへ			
高機能コンパウンド	PPコンパウンド		アメリカ)増強(+14千t)	増強(+28千t) 増強(+14千t)	
	アドマー		メキシコ)増強(+13千t)	増強(+25千t)	
		8極体制で世界トップへ			
			ブラジル)Produmaster買収(+55千t)	タイ)増強(+18千t)	
			中国)増強(+9千t)	増強(+10千t)	
					中国)新設
		世界トップの地位強化			

グローバル化 海外売上高比率

13年度46%、15年度には50%を超える見通しで、
グローバル化は確実に進展



(為替) 09年度
93円/\$

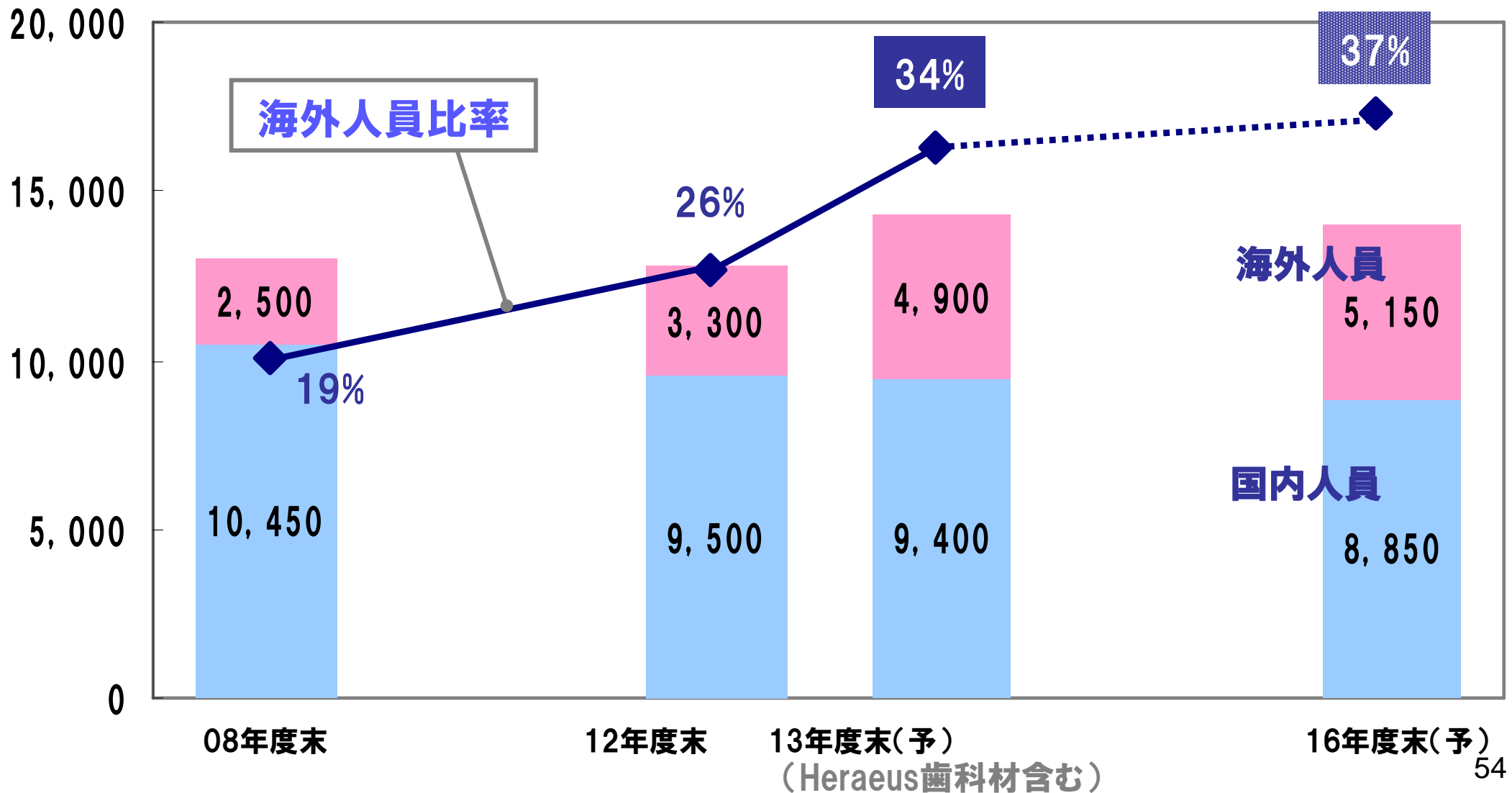
12年度
83円/\$

13年度
95円/\$

15年度予想
→

グローバル化 人員計画(連結)

グローバル化の進展に伴い、海外人員比率は増加
08年:19%→13年度末(予想):34%



製品トピックス

■ 概要

三井化学と大成プラスとの共同開発により、ポリプロピレンと金属の一体成形を実現し、強度と軽量化の両立を可能にする新技術

■ 特徴

- ・汎用プラスチックで最も軽量な**ポリプロピレンとアルミの一体成形が可能**
- ・**複雑形状の部材にも応用可能**
- ・独自発泡技術の応用で、同等の曲げ強度を持つ鉄板と比べ、**重量比1／3の軽量化に成功**



次世代自動車の座席フレーム、ピラー、ドア用部材として13年度末サンプル供給へ

自動車の軽量化、断熱・防音・制振効果が期待でき、燃費の改善、居住性の向上に貢献

スパッシュ®

■概要

野菜や花、魚や肉、加工食品などの鮮度を保持するフィルム

■特徴

- ・従来型の鮮度保持フィルムは、内容物を密封する必要があったが、「スパッシュ®」は開放状態でも効果を実現
- ・内容物の「しおれ」「変色」「ドリップの発生」を抑制し、鮮度・美味しさを長持ち



一般フィルム

スパッシュ
カット野菜(キャベツ)での評価
クール便で2日間輸送、低温保管3日後開封

全国の農協や農業法人、果物専門店、外食チェーン、大手コンビニ、水産加工会社などで採用

物流、店頭や家庭での**フードロス削減**、
農産品の**出荷時期調整**に大きく貢献

■概要

多収性、良食味を特徴とする高品質のハイブリッドライス種子

(ハイブリッドとは遺伝子組み換えとは異なります)

■特徴

- 一般品種の1.5倍以上の収穫量
- 産地品種銘柄登録増加中(13年度新たに福井県、熊本県が増え18県に)
- 一般品種より生育期間が長い為、収穫繁忙期がずれ、作業分散が図れる



大手外食チェーンなどでの採用、農家の大規模化に伴い採用拡大中

**多収性と作業分散による経営効率化により、
農家・農業法人の競争力向上に貢献**

ノティオSN[®]（ナノ結晶エラストマー）

■ 概要

ナノレベルで結晶構造を制御した画期的なオレフィン系エラストマー素材
合成皮革用途に展開を加速

■ 特徴

- ・従来素材に比較し、**軽量性、耐傷付き性、耐摩耗性、耐水性、耐カビ性**などに優れる環境に優しい素材



バッグ、財布などの小物類、靴、自動車内装、家具などで採用、評価進捗

**製品の軽量化、耐久性向上に貢献し、
環境に優しく自由なデザインで、消費者訴求性の高い製品開発に貢献**

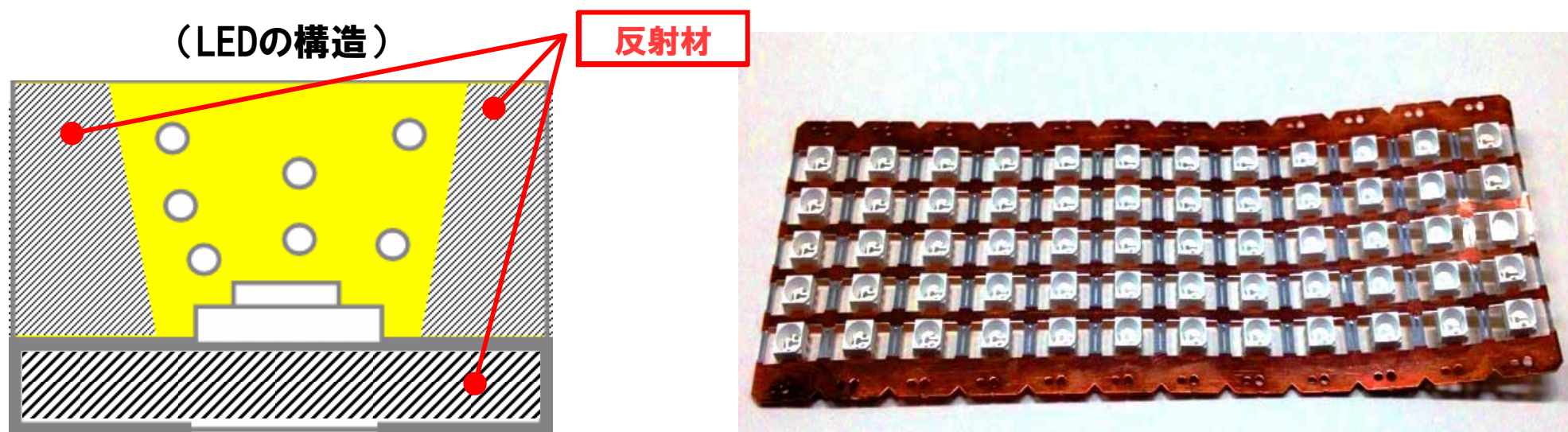
プロベスト® (耐熱ポリエステル樹脂)

■ 概要

高い耐熱性を有するポリエステル系エンジニアリングプラスチック

■ 特徴

- ・高い耐熱性、耐黄変特性
- ・高反射率と長期安定性



LED高出力基板の普及による耐熱ニーズを背景に、

ディスプレイバックライトや照明用途のLED反射材として高評価

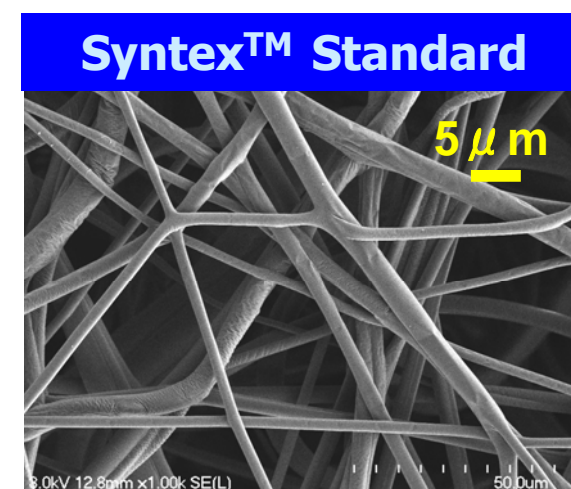
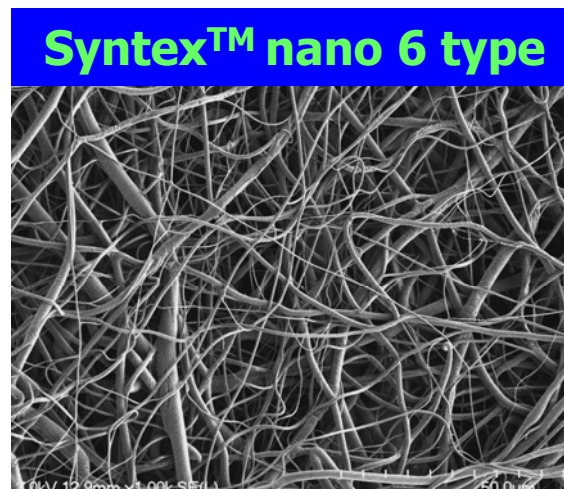
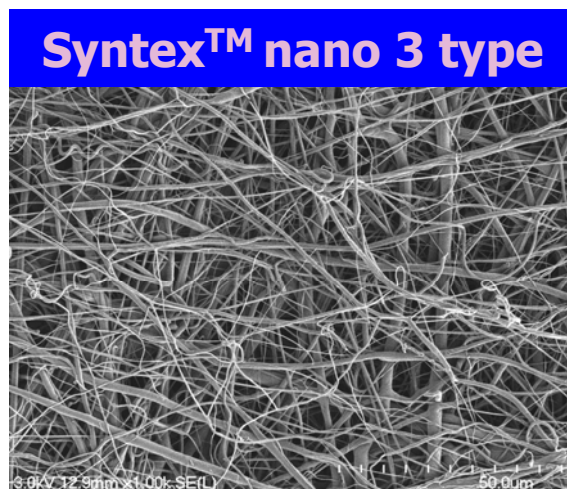
LED照明の高品質化、小型化、長期安定性に大きく貢献

■ 概要

ナノレベル(10^{-9}m)で繊維径をコントロールした超極細不織布

■ 特徴

- ・不織布の製法のひとつであるメルトブローン法に、当社独自の技術改良を加えることで、ナノレベルの細繊維化を実現、嵩高かつ孔径が小さいため、**高い流量で細かい粒子を阻止することが可能**
- ・ガラス繊維などの他極細径不織布とは異なり、溶剤やバインダーを使用しないため、溶出など二次汚染の無い**クリーンな極細不織布**



細繊維化 : 液体フィルターで採用拡大中

ナノレベルの細繊維化により、
より精密なフィルター用途への展開が可能

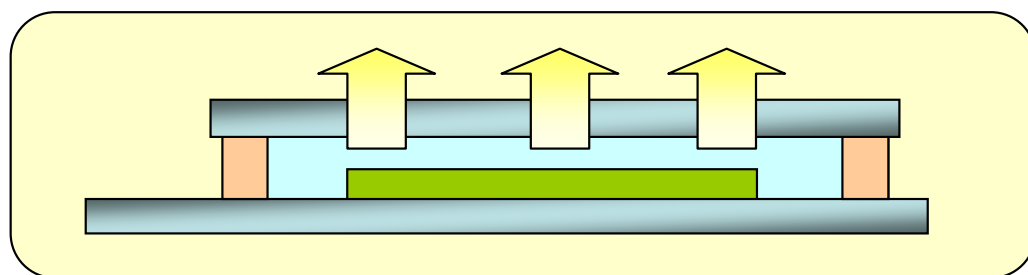
■ 概要

当社独自のポリマー技術で有機EL素子の封止材を開発

■ 特徴

- ・低含水率＝有機EL素子の劣化を防ぐ
- ・高透明性＝光取り出し効率を改善
- ・トップエミッション構造に適した材料設計

トップエミッション構造



有機ELディスプレイ、有機EL照明などで評価進捗

**有機ELの品質安定化、長寿命化に貢献
ディスプレイの大型化、フレキシブル化が可能に**

■ 概要

ポリオレフィン材料などに少量添加することで、成形性に影響を与えることなく製品表面をシリコーン特有の特徴に変化させる改質材料

■ 特徴

- ・少量の添加で離型性、撥水・撥油性、耐磨耗性などの表面特徴に改良
- ・ブリードアウトがほとんどなく、ポリオレフィンとの相溶性が良好



*植物油(着色)の液切れを比較



離型フィルムや化粧品ボトル、各種ヘルスケア材料などで評価進捗

ポリオレフィンフィルムの離型性能向上や、
容器の液残りを大幅改善する効果などが期待される

以上